

社会的な資源を活用した住民主体・市民協働の地区災害対応訓練による災害リスクの評価

Evaluation of Disaster Risk by Disaster Response Training utilized Social Resources

李 泰榮^{1*}, 長坂 俊成¹, 臼田 裕一郎¹, 田口 仁¹, 須永 洋平¹

Taiyoung Yi^{1*}, Toshinari Nagasaka¹, Usuda Yuichiro¹, Hitoshi Taguchi¹, Yohei Sunaga¹

¹独立行政法人防災科学技術研究所

¹Earth Science and Disaster Prevention

1. はじめに

近年、災害対応のための様々な取組みが実施されており、とくに、住民が主体となって行政や各種市民団体、学校などと連携した地域コミュニティの協働による防災訓練が進められる例がみられる。このような中、本発表では、地域コミュニティの災害リスクを低減するために社会的な資源を活用した災害対応訓練の取り組みとして、茨城県つくば市筑波小学校区における5区会を対象に行った事例を紹介する。

2. 訓練までの経緯と災害対応訓練の実施

つくば市筑波小学校区では、つくば市をはじめ社会福祉協議会及び様々な市民ボランティア団体や学校の協働によって「つくば市地域防災訓練実行委員会」を組織し、5区会と構成する同小学校区内の3つの避難所が連携した住民主体・市民協働による災害対応訓練を実施した。訓練に先立ち、筆者らは、リスクコミュニケーション手法として、同小学校区内の地域住民とつくば市地域防災訓練実行委員会の協働による「災害対応シナリオづくり」と「防災マップづくり」の2回のワークショップを実施した。

ワークショップでは、まず、地震災害時に各地区で起こりうる災害リスクについて住民自らが具体的に想定し、平日昼間の地震発生（震度6強）を前提に、「安否確認と救急対応」「避難所への誘導と自主避難」「避難所の運営」「地域ケア（介護・医療・福祉）の継続」の4つの課題をテーマに「災害対応シナリオづくり」を行った。その結果、地震災害時における住民の役割や住民同士の利害関係、そして被災状況に対する住民ニーズや連絡体制の必要性が確認できた。

次に、想定した被害をもとに、住民自らがまちをあるき、地震災害が起きた際に危険となるものと資源として利・活用できるもの、そして外部の支援団体の受入れのための道標となるものを発見し、筆者らの研究チームが開発したeコミマップ*を用いた「防災マップづくり」を行い、避難時に必要な物資やメンテナンスに必要な資源などと、防災マップの活用による避難ルート及び物資供給ルートを確認した。

これらの2回のワークショップの結果を踏まえて訓練計画を構築し、平日の午前中に地震が発生するといった想定のもと、地域に残っている住民同士が協力して高齢者などの要援護者の安否を確認しながら避難所へ避難し避難所を運営する内容の訓練を実施した。しかし、同小学校区では、町内会や区会単位の自主防災組織あるいは避難所運営組織の体系が整っていないため、災害対応シナリオに基づく初動期の対応に加え、被災経験のある全国各地の事例を参考に筆者らが提案した避難所運営委員会を住民自ら立ち上げ、災害時の避難所運営の指揮系統や役割分担についても訓練を行った。

3. 社会的な資源の活用による地域コミュニティの災害リスクの低減

つくば小学校区は、筑波山のふもとに広い範囲にかけて5区会で構成された地域である。この地域では、つくば市地域防災計画上、2ヵ所の避難所が指定されているが、2回のワークショップでは、挙動が不自由な高齢者が多いため遠い避難所まで移動できない、または、筑波山周辺の区会では、道の傾斜が著しいため、在宅避難あるいは近くの温泉旅館などの宿泊施設に一時的に避難したいなど、指定避難所までの移動問題が浮き彫りとなった。そのため、訓練では、2ヵ所のつくば市指定避難所に加え、地区の玄関口にある公共施設を自主避難所として追加設定し、これらの3ヵ所の公設避難所の開設による3会場の同時進行で訓練を行った。さらに、福祉施設が整えられている保育所を要介護者のケアのための福祉避難所として設定、筑波山の旅館組合の協力を得て一時的な避難場所として旅館施設の宴会場への避難も想定し、これらの分散した指定避難所、自主避難所、福祉避難所、一時避難場所への安否確認や物資供給なども含めた段階的・分散的な避難と複数の地区の避難所間の連携体制についても訓練を実施した。

よって、公共施設や保育所、旅館施設などの社会的な資源を活用した訓練を行うことにより、つくば市地域防災計画上では考慮されなかった訓練シナリオ構築の段階で顕在化された避難の課題が克服でき、避難所への移動や自主避難に伴う2次的な災害リスクの低減につながると考えられる。

キーワード:災害対応訓練,災害リスク,社会的な資源

Keywords: Disaster Response Training, Disaster Risk, Social Resources